

切除不能肝内胆管癌に対するゲムシタビン＋シスプラチン＋免疫チェックポイント阻害薬併用療法における治療効果関連因子の探索

1. 研究の対象

2023 年 1 月から 2026 年 6 月までに一次治療として、ゲムシタビン＋シスプラチン＋免疫チェックポイント阻害薬（デュルバルマブもしくはペムブロリズマブ）併用療法を受けられた切除不能肝内胆管癌の患者さん

2. 研究の概要

研究期間：総長の研究実施許可日～2030 年 12 月 31 日

研究目的：切除できない肝内胆管がんに対しては、現在、抗がん剤（ゲムシタビン・シスプラチン）と免疫の働きを利用した薬（免疫チェックポイント阻害薬）を組み合わせた治療が広く行われています。この治療によって病気の進行を抑えられる患者さんがいる一方で、十分な効果が得られない患者さんもおられます。しかし、治療を始める前の時点で、どのような患者さんに治療効果が期待できるかは、まだ十分には分かっていません。この研究では、これまで当院でこの治療を受けられた患者さんの診療情報や血液検査の結果などを解析し、治療効果や治療後の経過と関係する要因を調べます。この研究により、将来、患者さん一人ひとりに適した治療法の選択や治療計画の作成に役立つ情報が得られることを目的としています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、病歴、手術歴、併用治療（放射線治療など）の有無、画像検査、血液検査、合併症等の発生状況等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者

大阪国際がんセンター 肝胆膵内科 副部長 中堀 輔

住所：〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

-----以上